



2022年12月15日

各位

会社名 株式会社イメージ・マジック  
代表者名 代表取締役社長 山川 誠  
(コード: 7793 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理本部長 栗原 俊幸  
(TEL. 03-6825-7510)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年6月14日に公表いたしました2023年4月期(2022年5月1日から2023年4月30日)の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 1. 業績予想の修正について

2023年4月期通期業績予想の修正(2022年5月1日~2023年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,870	380	370	260	112.56
今回修正予想(B)	5,199	26	25	11	4.76
増減額(B-A)	△671	△354	△345	△249	
増減率(%)	△11.4	△93.2	△93.2	△95.8	
(参考)前期実績 (2022年4月期)	4,896	305	286	234	109.31

### 2. 修正の理由

当期の売上高のうちオンデマンドプリントサービスの売上高につきましては、当初計画4,820百万円に比して、今回修正予想は4,672百万円、増減額△148百万円(増減率△3.1%)となりました。

自社ECサイト「オリジナルプリント.jp」の売上高は堅調に推移したものの、主要なパートナー企業からの受注減が主な要因であります。

利益面では主要なパートナー企業からの受注減による売上総利益の減少及び物価上昇要因は見込んでいたものの、Tシャツ等の材料費及び主に電気代を含む水道光熱費の高騰等により売上原価が増加し、売上総利益を圧迫する結果となり、通期業績予想数値を下回る見込みとなりました。

ソリューションサービスの売上高につきましては、当初計画1,050百万円に比して、今回修正予想は526百万円、増減額△523百万円(増減率△49.9%)となりました。

他社との競争激化等によりプリンター販売が当初の想定より伸びず、それに付随して増加する消耗品の販売も予想売上高に到達せず、通期業績予想数値を下回る見込みとなりました。

利益面では機能的劣化による一部インクの評価損、円安による輸入プリンター仕入価格の高騰、プリンターの保守用備品交換費用の計上等により売上原価が増加し、売上総利益の大幅な下落を招く結果となりました。

上記の理由で売上高の減少及び売上原価の増加により売上総利益が減少したことによって、通期業績予想数値を下回る見込みとなりました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益とも前回発表予想を下回ることが見込まれるため2023年4月期の業績予想を修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は様々な要因により上記数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上